

64. 青年女子の体型に適する和服寸法の基準設定 について

お茶の水女子大 増田 順子
柳沢 澄子

1. 昨年の総会において発表したものと同一資料（高校女子生徒 905人の身体計測値）を用いて、今回は和服寸法について検討し、和服の基準寸法を設定してみたので報告する。年々青年女子の体格は著るしい向上がみら

れるが、それにともなって衣服寸法も改められなければならないと思う。また青年女子の体型は、成人女子とは異なるので、青年女子独自の体型に適した和服寸法を設定することが必要であると思い、本研究を行ってみた。

2. 和服寸法に関係のある身長・総丈・背丈・右脇骨棘高・ゆき・胸囲・腰囲・頸付根囲・腕付根囲の9項目をとりあげ、平均値・標準偏差及び身長・腰囲と他項目との相関係数を用いて回帰平面を作り、次の推定式を用いて各部位の推定値を算出した。 $(Y = b_{Y1.2} X_1 + b_{Y2.1} X_2 + b)$ 但しY推定式添え字1・2は身長・胸囲、bは偏回帰係数)次に和服書より、和服寸法として必要な14項目(着丈・衿下・衽下り・袖付・身八つ口・えり肩明・後幅・前幅・衽幅・合褌幅・ゆき・袖幅・肩幅・袖口)について割り出し法の検討を行い、最も妥当と思われる割り出し法を決定してみた。前記9計測項目に更に右内課端高・右手長の2項目を加えた11項目を用い、決定した割り出し法によって和服寸法14項目の基準寸法を算出した。

3. 従来の各著書にみられる基準寸法は1種~3種であるが、私は種々の体格の人が使用しうるように30種の体型に対応する14項目の数値の計算を行い、一覧表を作った。